

令和 4 年度地域医療構想推進シート（案）説明概要

項 目	項 目 の 説 明
1 地域医療構想の実現に向けた取組の方向性	<p>地域医療構想（2025）の実現に向けた取り組みに向けて設定した「5項目」の取り組みの「現状・課題」に対する「目指す姿」を記載しております。</p> <p>※「医療機関の機能（診療科）や体制（救急医療体制等）が一部重複していることによる役割分担等に向けた取組」の現状・課題について、岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の統合に向けた取組が進み始めた旨の表現に変更しています。</p>
2 圏域内における医療機能及び他圏域との連携等の必要性	<p>道は、5疾病・5事業・在宅医療等について、各医療機関に対し毎年調査を行い、北海道医療計画の公表基準に合致し、公表に同意をいただいた医療機関名を記載しています。</p> <p>なお、圏域内で対応困難な疾病はないと思われるため、現時点では、連携・協議が必要な圏域名は記載しておりません。</p>
<p>3 将来的に不足することが見込まれる医療機能の確保対策等</p> <p>(1) 病床の現況及び2025年の見込み</p> <hr/> <p>(2-①) 不足することが見込まれる医療機能の把握等</p> <p>(2-②) 不足することが見込まれる医療機能の確保対策</p> <p>(2-③) 不足することが見込まれる医療機能の確保に向けた取組目標及びスケジュール</p>	<p>当区域は、将来的に「急性期」が過剰となり、「回復期」の不足が見込まれます。「慢性期」が必要数を下回ったため、今後の推移に留意が必要です。</p> <hr/> <p>当区域で不足することが見込まれる機能は「回復期」です。</p> <p>南空知区域の重点課題は「数年内に建て替えてを予定している病院における将来の役割・機能の在り方」となっており、各医療機関の建替えに向けた検討で、急性期病床・慢性期病床の一部を回復期病床に転換する動きが具体化してきています。</p> <p>不足することが見込まれる医療機能の把握方法について、今後も調整会議の外、各種会議において情報共有を行うことにより把握していきます。</p>

項 目	項 目 の 説 明
(3-①) 医療機関の再編統合等に向けた動き (3-②) ICTを活用した地域医療ネットワークの整備状況 (3-③) 医療機関の再編統合等の取組目標及びスケジュール	<p>医療機関の再編統合については、基金事業をはじめとする財政支援策について周知継続、先駆的事例の紹介などを引き続き行っていきます。</p> <p>なお、岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院の統合による新病院整備で、南空知圏域の課題である、岩見沢市内（岩見沢市立総合病院、北海道中央労災病院）における二次救急や、重症患者への対応など「急性期機能の維持・強化」も踏まえた対応が進み、今後も圏域内で情報共有を進めて行きます。</p>
(4) 非稼働病床への対応	<p>非稼働病床は概ね減少の傾向にあります。</p> <p>非稼働の主な要因としては、地域医療構想を踏まえた検討中の医療機関、民間医療機関の動向確認や、新型コロナウイルスのため稼働を見合わせている等の状況です。引き続き適正化に向けての検討をお願いすることとしています。</p>
4 在宅医療の確保対策 (1) 在宅医療等の必要量	<p>在宅医療の需要については、医療計画の中間見直し、第8期介護保険計画において、推計値を見直し、前回推計から、1日当たりR5で8人、R7で6人の増加となっています。</p>
(2) 訪問診療を実施している医療機関数	<p>訪問診療を実施している医療機関数はR4で22となっており、H30から4減となっています。</p>
(3) 在宅医療等の確保対策のスケジュール	<p>南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の南部4町で切れ目ない患者支援、看取り等に近隣町で取り組む「在宅医療コーディネート事業」をR2から開始しました。</p> <p>R4には緩和ケアに関する実態調査を行いました。</p> <p>引き続き基金事業の活用周知を含めた支援を行っていきます。</p>
5 地域（市町村）における取組	<p>当該項目は、毎年度各市町に内容を更新していただいております。</p>
6 地域住民への広報活動	<p>引き続き、市町の広報誌等を適宜活用しながら周知を図って行きます。</p>

項 目	項 目 の 説 明
<p>7 調整会議における協議等</p> <p>(1) 協議の状況</p> <p>(2) 「公立病院経営強化プラン」の進捗状況</p> <p>(3) 「公立病院経営強化プラン」の進捗状況</p> <p>(4) 二次医療圏を越えた広域的な協議</p> <p>(6) 病床機能報告制度に係る取り組み</p> <p>(7) 地域で不足する外来医療機能の確保に係る取組</p>	<p>今年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス対応のため書面開催による協議となりましたが、3月開催の会議は、リモートを活用しながら対面で実施することとしています。</p> <p>今年度から策定することとなったプランであり、現在、市立美唄病院、町立南幌病院が年度内策定に向け準備を進めています。</p> <p>毎年度、各病院から、それぞれのプランの進捗状況についてご回答をいただき、内容を掲載しております。</p> <p>現在のところ協議案件はありません。</p> <p>昨年度に引き続き、全ての医療機関から報告をいただいております。</p> <p>本年度は具体の取り組みを行うことができず、次年度から対応を進めさせていただきます。</p>
<p>8 本年度の取組に関する評価（課題）及び今後の方向性</p> <p>将来的に不足する医療機能の確保</p> <p>医療機関の再編統合等</p> <p>ICTを活用した地域医療ネットワークの構築</p> <p>非稼働病床（病棟）への対応</p> <p>在宅医療の確保</p> <p>地域における取組（高齢者の住まいの確保等）</p> <p>地域住民への広報活動</p>	<p>前年と同様の評価（課題）及び今後の方向性とします。</p> <p>岩見沢市立総合病院と北海道中央労災病院との統合を踏まえた記載としました。</p> <p>南空知南部4町での取組みを踏まえた記載としました。</p> <p>非稼働病床はコロナの影響を除くと年々減少しており、前年と同趣旨の記載としています。</p> <p>引き続き在宅医療の確保について、検討協議を行うことから、前年と同趣旨の記載としています。</p> <p>第8期介護保険事業計画中で記載内容に変更はありません。</p> <p>これまでと同様の取組を行いますので、前年記載と変更はありません。</p>

項 目	項 目 の 説 明
公立病院経営強化革プランの進捗	今年度から策定することとなったプランであり、現在、市立美唄病院、町立南幌病院が年度内策定に向け準備を進めています。次年度から、毎年度の進捗状況を調整会議で情報共有していきます。
公的医療機関等2025プランの進捗	引き続き継続した取組を行いますので、前年記載と変更はありません。ただし、北海道中央労災病院については、岩見沢市立総合病院との統合に向けた記載となっています。
二次医療圏を越えた広域的な協議	現段階では圏域を越えた協議事項はないため、前年記載と変更はありません。
全医療機関参加型の調整会議の運営等	引き続き全医療機関参加型の調整会議を目指すことから、前年記載と変更はありません。
病床機能報告制度に係る取組	未報告の医療機関がないため、前年記載と変更はありません。
地域で不足する外来医療機能の確保に係る取組	各部会の協議や調整会議での情報共有を進めていきます。